

# まきは

## 「光の中を歩む」

「私は世の光である。私に従う者は闇の中を歩まず、命の光を持つ。」

(ヨハネによる福音書 第8章12節・新約聖書177頁)

はじめに

ヨハネによる福音書が共観福音書(マタイ、マルコ、ルカ)と違う点の一つは、そのみわざが「イエスが神の子であり、救い主である」証拠であると解説していることです。それが「七つのしるし」であり、「七つの自己証言(私は～である)」です。今朝は、その「七つの自己証言」一つである「私は世の光である」から、「光の中を歩む」ことの素晴らしさを見ていきます。「律法」による救い

ヨハネ福音書が書かれた時代は、ユダヤ教とリスト教の違いが明らかにされたことで、ユダヤ教からの迫害が始まった頃でもありました。キリスト教会は驚くべき早さで成長し発展していきましたが、ユダヤの国自体はAD70年にローマに反抗して起こした戦争に敗れ、エルサレム神殿も破壊されています。この時、神の臨在を象徴する神殿だから、絶対に陥落しないと信じていたユダヤ人たちは、国を失うと同時に信仰的なよりどころを失ったのです。その破局の中で、ユダヤ人たちは、もう一つのよりどころであった「律法」を中心とした生き方を徹底していくのです。神の律法を守り、律法に生きることで、神の民であり続けられると主張して民を牽引指導していったのが「ファリサイ派」でした。こうした「律法」による救い、ユダヤ再建の流れに対し、イエスをメシア(救い主)とする教えは、ユダヤ人の共同体から排斥されていったのです。

しかし、その中で、ヨハネは、救いは「律法」

によるのではなく、主イエスの十字架と復活によるのだと書き記したのです。

主イエスが与えてくださる「救い」とは

「私は世の光である。私に従う者は、闇の中を歩まず、命の光を持つ」と宣言されたとおり、私たちを光に招き入れ、その中を歩めるようにして下さることが、主イエスが私たちに与えられた「救い」です。この箇所の直前に「姦淫の女」の記事があります。姦淫の現場で捕らえられた女に、主イエスは「私はあなたを罪に定めない。」と罪の赦しを宣言されています。これこそ、闇から光へと招き入れられたよい例です。主は十字架と復活によって、罪の赦しと再生への道、光の道を開いてくださったのです。

「光の中を歩む」とは

しかし、私たちはなかなかその光が分かりません。「私は世の光である」との言葉に、ファリサイ派の人々が「それはあなたが勝手に言っていることで、信じられない」と否定しています。主イエスこそが世の光だと認められない現実があるのです。では、どのようにしたら分かるのでしょうか。「私に従う者」にヒントがあります。私たちが命の光を持つためには、主イエスに従うことが必要なのです。

四旬節を過ごしている私たちは、今こそ主の十字架の苦しみと痛みによって開かれた救いを、もう一度感謝すると共に、信仰の原点を確認いたしましょう。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

「イエスは、身を起こして言われた。『女よ、あの人はどこにいるのか。誰もあなたを罪に定めなかったのか。』女が、『主よ、誰も』と言うと、イエスは言われた。『私もあなたを罪に定めない。行きなさい。これからは、もう罪を犯してはいけない。』イエスは再び言われた。『私は世の光である。私に従う者は闇の中を歩まず、命の光を持つ。』」  
(ヨハネによる福音書 8:10～12)



主イエスさまのみわざには、ご自分が神であり、救い主であるという意味がおりになるのだと知りました。罪の女に対して、「私はあな

たの罪を赦す」と宣言することができたのは、神であり、救い主であるからこそなのです。私は罪の女のように、闇の中を歩んでいるような者でしたが、あなたが「私は光である」とおっしゃったことによって、その主を信じ、そして従うことで罪を許され、赦しの宣言を受けて、光の中を歩むことができるようにされたのでした。ほんとうにありがとうございます。これからもその主に従って、光の中を歩むことができるようにしてください。永遠の命を持つ者とさせてください。御名によってお祈りいたします。アーメン。

## 深読みにチャレンジ!

### 箴言 (97) 第4章27節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「右にも左にも偏ることなく 足を悪から遠ざけよ。」

◎口語訳 「右にも左にも迷い出てはならない、あなたの足を悪から離れさせよ。」

◎新改訳 「右にも左にもそれではならない。あなたの足を悪から遠ざけよ。」

「右にも左にも」

右にも左にも偏るな、とはまっすぐ歩けよ、ということなのですが、なぜ「まっすぐに」とは言わず、「右にも左にも」と言ったのでしょうか。

この表現が用いられている箇所は意外に多く、十戒を示されたモーセが、民たちに「主が命じられたとおりに、守り行わなければならない。右にも左にもそれではならない」(申命記 5:32)と命じています。約束の地を目指したヨシュアには、主が「私の僕モーセがあなたに命じた律法をすべて守り行い、そこから右にも左にもそれではならない。そうすれば、あなたはどこに行っても成功を収める」(ヨシュア 1:7)と直接語られており、神の民たちにとって「右にも左にも」との表現は、神の律法を意識させる言葉であったと考えられます。

「偏る」との言葉で、何か左右両極にある思想に偏らないようにと諭しているようにも受け取

### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
  - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
  - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
  - c アゲルの言葉 (30:1～33)
  - d レムエルの言葉 (31:1～31)

れますが、ほかの聖書の箇所、荒れ野を旅してきた神の民がエドムを通過させてくれと頼んでいる場面で「私たちは畑やぶどう畑の中を通りません。井戸の水も飲みません。私たちは『王の道』を進み、あなたの領土を通り過ぎるまで、右にも左にも曲がりません」(民数記 20:17)と、見向きもせず、関与もせず、ただ目的地に向かって行くだけだとの意思表示をしています。

父が子に対しイメージしたのはこのことです。よそ見をして誘惑に陥らずに、主の言葉、知恵の言葉だけを見続けることが大切です。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

ヨブ記第11章7節「あなたは神を究め、見通すことができるか。全能者を極みまで見通すことができるか。」◆ツォファルは前に語った2人にも増して、厳しい口調でヨブを非難した。「あなたはなぜ人の忠告を素直に聞けないのだ。こういったらああいう、口だけは達者だが、あなたの信仰など偽物だ」。よく言えると思う。自分の信仰を棚に上げ、これでもかと、自分が神であるかのように、裁判官であるかのように相手を批判する。それに対して、「あんたこそ、どれだけえらいんだ」言い返すことで、人間関係は泥沼化していくのだ。

### ●賛美 / 101 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

ヨブ記第12章3節「私にも、あなたがたと同様に悟りがある。私はあなたがたに劣らない。このことを知らない者がいるだろうか。」◆3人の友は何をしに来たのか。おそらく、なぜこんな口論になってしまったのだろうかと思いながら、やめられなくなっていたはずだし、ヨブもそのことを知っていて、言わずにはいられなくなっていました。しかも、火に油を注ぐような言葉を添えて、反論しないではいられなくなった。「そんなこと、知らないやつがいるか。分をわきまえろ」。ツォファルの自尊心を逆なでする言葉を語って、事態は最悪な状況になっていく。

### ●賛美 / 102 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

ヨブ記第13章5節「どうか、黙っていてくれ。それがあなたがたの知恵であろう。」◆激しさを増していく言い争いをどう収束させるのか。ヨブは言った。「もう黙ってくれ」。だが、言い争っている時に、自分のほうから沈黙すると、反論できなくなったと思われるのでしゃくだ。だから、際限なく続く。ヨブが「沈黙しろ。それがあなたがたのすべきことだ」と言えるのだったら、ヨブのほうから沈黙すべきだった。「静まって、わたしこそ神であることを知れ」(詩篇62)の「静まる」は「黙れ」「沈黙せよ」と訳すことができる言葉である。神に委ねて沈黙できるだろうか。

### ●賛美 / 103 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

ヨブ記第14章10節「しかし、人間は死ぬば横たわる。人は息絶えれば、どこにいるのか。」◆ヨブは人生のはかなさ、またその毎日が苦難であることを語っている。もし私たちが、それだけの人生であるならば悲観する以外にはないが、主の復活の命に満ちた私たちには、この嘆きは無い。そして、ヨブもまた、14節で、「もし人が死ぬば、また生きるでしょうか。そうであれば、解き放たれる時が来るまで すべての苦役の日々を忍んで私は待ちましょう。」と、苦難の後の復活を信じていたともとれる言葉を語っているのは興味深い。復活の信仰は、苦難を支える。

●賛美／104 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

ヨブ記第15章10節「私たちの中には白髪の者も老いた者もいてあなたの父よりも年上だ。」◆エリファズ、ビルダド、ツォファルのいずれかはわからないが、ヨブの父よりも年上の人物がいたわけだ。だがヨブへの主張は変わらない。おまけに「あなたは神への畏れを捨て神の前で祈ることをやめている。」(4)とも非難している。自分の意見を納得させようとする時、「あなたよりも人生、長いのだ」と自分の経験値を誇るくらいいしくなくなる。だが、信仰生活が長いことを誇りとしてはならない。先の者は後になり、後の者が先になる。

●賛美／105 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

ヨブ記第16章12節「私は平穏であったのに、彼は私を打ち砕き私の首を捕まえて打ち叩き私を立たせて標的とした。」◆「空虚な言葉を並べ立て、時間の無駄だ。そんなギャアギャア騒いで感情的になるなよ」とヨブは言っている。口角泡を飛ばして、という雰囲気になっているのだろうが、ヨブは相手が一言言うと、二倍にも三倍にも返している。そんなことをしているから自分も冷静さを失い、そして心がずさんでしまうのだ。なぜ安らかでなくなったのか。それは、神に語る言葉を人に向けて語り始めたからだ。自分で自分を苦しめているのだ。

●賛美／106 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

ヨブ記第17章10節「だが、あなたがたは皆、戻って来るがよい。私はあなたがたの中に知恵ある人を見いだせない。」◆そこにいた人々はヨブを含め全員がくたぐただった。「もういいかげんにしてくれ」という気持ちだった。何よりも心がずたずたにされた。「私の霊は破れ、私の日々は消え去る。私にあるのは墓ばかり。」(1)との状態で、トンネルの出口は見えない。このような状況を招いたことこそが、「知恵ある人を見いだせない」状態だった。最悪である。お互いがあきれいているだけで、解決できない。神に介入していただき、打開していただくしかない。

●賛美／107 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやこでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【マルコによるふくいんしよ 11:1～11】

「エルサレムに」

(ゼカリヤ 9:9)

イエスさまはいよいよじゅうじかにおかかりになるときだとして、エルサレムにむかわれました。エルサレムのちかくのベトファゲとベタニアとよばれてたいるばしよにきたときでした。ふたりのでしに「むらにいくと、すぐにだれものったことのないころばがつないであります。それをつれてきなさい。もし、なぜつれていくのかきかれましたら、「しゅがおつかいになるのです」といってください」とおねがいし、おつかわしになりました。

でしたちがころばをつれてくると、イエスさまはそのころばにのられました。つかれておられたのでしょうか。そうではありません。

イエスさまはかみのひとりごととしてこのよにうまれてこられ、ナザレですごされたあと、すくいぬしであることをひとびとにつたえ、さんねんのあいだガリラヤこのまわりの

まちやむらをめぐり、かみさまのくにのすばらしさをとき、またきせきをなさり、「かみのくにはちかづきました。くいあらためてふくいんを信じなさい」といってこられました。

そのすべてがきゅうやくせいしよでかかれていたすくいぬしのよげんどおりになっていきました。そうです。イエスさまこそがきゅうやくせいしよによげんされているすくいぬしであるとしょうめいされたのでした。ろばにのってエルサレムにいくこともすくいぬしのよげんでした。

エルサレムにはいられたイエスさまをみんな「ホサナ(しゅよおすくいください)」とさけびながら、かんげいしました。でもこのとき、イエスさまがじゅうじかにかかってしんで、すくいをじつげんするためにエルサレムにきたということがわかっていたひとはだれもいませんでした。でしたちさえもかंगाえられないようなことだったのです。

イエスさまがすくいのみちをひらいたことをしんじるものになりましょう。

## ●かんがえてみよう

☆イエスさまはどのようにしてエルサレムにはいっていかれましたか。(マルコ11:7)

☆イエスさまがエルサレムにはいられるとき、エルサレムのひとたちはなんといいてむかえましたか。(マルコ11:9)

☆イエスさまはそのままエルサレムにおとまりになられましたか。(マルコ11:11)



# なむむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

ごしをつかいにだお

	つ		す	い	に	だ		か
を	す			つ	か			し
に	かい			だ	し	つ	す	
だ	に	か				を	し	つ
		す			つ	で	だ	い
い	で	つ	だ	し	を			
つ	だ		し					を
す	し		つ	で	だ	か		

## ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① はつえだのいた
- ② このむうらむ
- ③ あべにた
- ④ こばろ

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





# 牧師の 聖書 ななめ読み

「節句」

今月は桃の節句がありました。家がこぢんまりしてしまっただけの家では段飾りは見られず、かろうじてお内裏様とおひな様が飾られる程度です。伊豆ではつるしびなが主流なのですが、伊豆だけだと思ったら、山形県酒田市でもりっぱなつるしびなが飾られていてびっくりしました。どこかでつながっているのでしょうか。

「桃」の節句と言うように、暦にはほかの節句もあります。しかも暦の中で同じ数字の並びの日に節

句として設定されています。「1月1(7)日」は人日の節句で七草、「3月3日」は上巳の節句で桃、「5月5日」は端午の節句で菖蒲、「7月7日」は七夕の節句で星、「9月9日」は重陽の節句で菊になります。

節句は、簡単に言えば、無病息災や豊作を祈願しての厄払いの日。奈良時代、中国の陰陽道に由来している習慣が取り入れられたようです。奇数は「陽」で発展を意味しているのだそうですが、その後は日本の文化習慣と混合されて今の形になっているようです。

私は宗教ではなく、「日本文化」として見ています。信仰の対象になっていなければ偶像崇拜にはあたりません。

## 聖書ふれあい街歩き

### ●アバル・ナハラ州

エズラ記に出てくるアバル・ナハラ州はペルシア帝国の行政区分の一つです。「川の向こう側」との意味だと言われています。ユーフラテス川を規準にしてその西側、つまりユダヤを含んだパレスチナ一帯で、行政区長官はダマスコにいたとされています。

ネヘミヤ記では、エズラ記と同時期でありながら、この呼称が使われていません。実は、エズラ記では、おそらくアルタクセルクセス王との書簡のやりとりを正確に記録するために、ペルシア帝国の呼称を使ったと考えられます。ですから、単にユダヤではなく、アバル・ナハラ州のユダヤとなるわけです。ペルシア王が認可したのだとの事実が重要だったわけです。

ネヘミヤ記はそのことを受けたユダヤ人たちが、どのように動いていったのかを残そうとしているので、総督もエズラ記にあるアバル・ナハラ州の総督ではなく、ユダの総督(ネヘミヤ)を指しています。現実にはアケメネス朝ペルシア帝国のアバル・ナハラ州の中のユダ州、その一都市エルサレムであったのですが、ネヘミヤはペルシア王直属の高官であり、王の信任を受けてユダ地方の行政を任されていたため、行政区分は必要なかったのです。

## ななめ聖書 先週のこたえ

め	す	た	て	う	が	し	く	さ
く	が	さ	め	す	し	て	た	う
て	う	し	た	く	さ	め	が	す
し	く	す	う	た	め	が	さ	て
が	さ	う	す	し	て	た	め	く
た	め	て	さ	が	く	す	う	し
さ	し	め	が	て	う	く	す	た
す	て	が	く	さ	た	う	し	め
う	た	く	し	め	す	さ	て	が

- ① つみぶかいおとこ
- ② いちじくぐわ
- ③ ざいさん
- ④ よんばい



## 神殿の混乱

彼らがパウロを殺そうとしていたとき、エルサレム中が混乱状態に陥っているという報告が、守備隊の大隊長のもとに届いた。

大隊長は直ちに兵士と百人隊長を率いて、その場に駆けつけた。群衆は大隊長と兵士を見ると、パウロを打ち叩くのをやめた。大隊長は近寄って来てパウロを捕らえ、二本の鎖で縛るように命じた。そして、パウロが何者であるのか、また、何をしたのかと尋ねた。しかし、群衆はあれやこれやと叫び立てていた。大隊長は、騒々しくて真相をつかむことができないので、パウロを兵営に連れて行くように命じた。パウロが階段にさしかかったとき、群衆の暴行を避けるために、兵士たちは彼を担いで行かなければならなかった。大勢の民衆が、「その男を片づける」と叫びながら付いて来たからである。(使徒言行録21:31~36)



ローマの大隊長

## 【大隊長】

この大隊長は23章26節で、クラウディウス・リシアという名であったことが分かります。その後のやりとりで、「私は、多額の金を出してこの市民権を得たのだ」(22:28)と言っていますので、たたき上げの軍人だったのでしょうか。生粋のローマ人ではなく、どこかの属州出身から兵士に志願して入隊、百人隊長は、所属隊の兵士たちの互選で選ばれます。隊の中で人柄や指導力、そして勇敢さなども加味されて、百人隊長に推薦され、任命され、晴れて指揮官となります。そして、その働きぶりが認められると、大隊長になり、百人隊を10部隊任せられる千人隊長に昇格するわけです。おそらく、そのタイミングで「ローマ人」資格を取ったと考えられます。クラウディウスというローマ風の名前も、その時から名乗り始めたのかもしれない。

大隊長は千人隊長とも呼ばれ、その呼称の通り、百人隊をいくつか束ねていたため、「百人隊長を率いて」騒動の鎮圧に出勤していることが分かります。人々体調がいるわけですから、駐屯していた兵士は1000人近くいたと思いますが、ただ、この際は全軍を動かしたのではなく、交代で担当していた当番の治安維持部隊とその部隊長(百人隊長)がことにあたったはずです。

いずれにせよ、大隊長は軍団の司令官や属州総督よりは下なのですが、それなりの指揮権があり、治安維持に努めていました。百人隊長は現場の責任者、大隊長は総督の代理を務める治安維持の最高責任者の立場です。とはいえ、何事があればすぐに左遷、また立場の剥奪もあります。当時ユダヤの総督はフェリクス(23:24)で、カイサリア

に常駐していましたので、エルサレムではローマのトップとして、自体を早期に鎮圧させなければならなかった、そのために「直ちに」現場へと駆けつけたのでした。宗教的な問題には介入することはしなかったのですが、暴動に発展しかねなかったことで、介入に踏み切ったのでしょうか。

## 【二本の鎖】

なぜ、わざわざ「二本の鎖で縛った」とあるのでしょうか。ローマでは重罪を疑われる犯罪者に対し、逃亡できないように、両手首を拘束するだけではなく、左右に兵士をつけ、兵士と犯罪者をつないで護送する方法が採られました。それが「二本の鎖」です。

大隊長は騒動が大きくなっていることから、その中心にいるパウロが相当な危険人物の可能性があると判断し、二本の鎖でパウロを縛ったのでしよう。まさにそれは、預言者のアガボがパウロの帯を取って自分の手足を縛り、「エルサレムでユダヤ人は、この帯の持ち主をこのように縛って異邦人の手に引き渡す」と告げた預言が実現した出来事でもありました。

直後、パウロがローマ市民であることが分かり、「ローマ市民に対しては、裁判前に鎖をかけてはならない」との法律違反を犯した大隊長は青ざめてしまうのですが、この鎖はパウロにとってローマへの道となりました。「イスラエルが希望していることのために、私はこのように鎖につながれている」(使徒28:20)と言っている通りです。

かつてペトロも「二本の鎖」につながれていますが(使徒12:6)、「犯罪人のように鎖につながれています。しかし、神の言葉はつながれていません。」(テモテニ2:9)

## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#2/17)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#2/18～#3/28)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/5～#5/23)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#5/24～#11/28)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/29～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/10・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)  
父の日(6/21・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/22・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)  
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/22～28)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)  
最後の晩餐集会(#4月2日夕)  
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)  
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

## 教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

